

令和6年度 年間授業計画

東京都立科学技術高等学校

教科	科目	創造理数科
地理歴史	歴史総合	
学年	単位数	
1学年	2単位	
教科担当者		
稲見		
使用教科書		
明解 歴史総合ノート		

教科の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解しているとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめることができる。	地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察し、それらを基に議論できる。	地理や歴史に関わる諸事象について、国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとしている。

科目の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、理解するとともに効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	単元名：欧米諸国における近代化 【知識及び技能】 イギリスの革命とアメリカの独立によって成立した、それぞれの政治体制について、啓蒙思想に着目して理解する。 フランス革命の理念を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 イギリスとアメリカで成立した政治体制とその違いについて考察し、表現する。 フランスの政治体制や社会が革命によってどのように変化したのかを表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 市民革命が、現代社会に与えた影響と課題について、追究する。	・指導事項 ピューリタン革命、アメリカ独立革命、フランス革命 ・教材 明解 歴史総合ノート ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 イギリスの革命とアメリカの独立によって成立した、それぞれの政治体制について、啓蒙思想に着目して理解している。 フランス革命の理念を理解している。 【思考・判断・表現】 イギリスとアメリカで成立した政治体制とその違いについて考察し、表現している。 フランスの政治体制や社会が革命によってどのように変化したのかを表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 市民革命が、現代社会に与えた影響と課題について、追究しようとしている。	○	○	○	28
	単元名：産業革命で変わる社会 【知識及び技能】 産業革命の進捗と、その結果確立した資本主義による社会の変化について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 産業革命による社会の変化に着目し、現代につながるどのような問題が生じたかを考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 産業革命が、現代社会に与えた影響と課題について、追究する。	・指導事項 産業革命 ・教材 明解 歴史総合ノート ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 産業革命の進捗と、その結果確立した資本主義による社会の変化について理解している。 【思考・判断・表現】 産業革命による社会の変化に着目し、現代につながるどのような問題が生じたかを考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 産業革命が、現代社会に与えた影響と課題について、追究しようとしている。	○	○	○	
	定期考査			○	○	○	
	単元名：アジア諸国の動揺と日本の開国 【知識及び技能】 ヨーロッパの進出に対する日本と清の対応と結果を、行動主体に着目して理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 アヘン戦争とアロー戦争によって、清とヨーロッパ諸国の貿易や外交関係がどのように変化したかを考察し、表現する。 旧幕府軍と新政府軍の考え方の違いと近代化との関連について考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 欧米諸国の進出とアジア諸国の変容が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。	・指導事項 アヘン戦争、日本の開国、江戸幕府の滅亡 ・教材 明解 歴史総合ノート ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ヨーロッパの進出に対する日本と清の対応と結果を、行動主体に着目して理解している。 【思考・判断・表現】 アヘン戦争とアロー戦争によって、清とヨーロッパ諸国の貿易や外交関係がどのように変化したかを考察し、表現している。 旧幕府軍と新政府軍の考え方の違いと近代化との関連について考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 欧米諸国の進出とアジア諸国の変容が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。	○	○	○	
	単元名：近代化が進む日本と東アジア 【知識及び技能】 明治維新とその後の日本の変化やアジア諸国の変容について、資料を読み取り、理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 明治維新の歴史的な意義について、現代の日本への影響と関連付けて考察し、みずからの言葉で表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 明治維新やアジア諸国の変容が、現代社会に与えた影響と課題について追究する。	・指導事項 新政府の誕生、日清戦争、日露戦争 ・教材 明解 歴史総合ノート ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 明治維新とその後の日本の変化やアジア諸国の変容について、資料を読み取り、理解している。 【思考・判断・表現】 明治維新の歴史的な意義について、現代の日本への影響と関連付けて考察し、みずからの言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 明治維新やアジア諸国の変容が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。	○	○	○	
	定期考査			○	○	○	

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
2 学 期	単元名：第一次世界大戦と日本の対応 【知識及び技能】 国際関係の視点を軸に、第一次世界大戦勃発から終戦までの経緯と、参戦各国の社会の変化について、資料を読み取り、理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 第一次世界大戦の総力戦体制下において、列強の戦闘員・列強の非戦闘員・植民地や従属地域の人々がそれぞれどのような目的で戦争に協力したのかについて考察し、みずからの言葉で表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 勢力均衡に基づく国際秩序と大衆の戦争参加が、現代社会に与えた影響と課題について追究する。	・指導事項 バルカン半島の緊張、第一次世界大戦 ・教材 明解 歴史総合ノート ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 国際関係の視点を軸に、第一次世界大戦勃発から終戦までの経緯と、参戦各国の社会の変化について、資料を読み取り、理解している。 【思考・判断・表現】 第一次世界大戦の総力戦体制下において、列強の戦闘員・列強の非戦闘員・植民地や従属地域の人々がそれぞれどのような目的で戦争に協力したのかについて考察し、みずからの言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 勢力均衡に基づく国際秩序と大衆の戦争参加が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。	○	○	○	32
	単元名：国際協調と大衆社会の広がり 【知識及び技能】 ヴェルサイユ体制によって形成された国際秩序と、国際社会や各国に生じた政治・社会・文化の変化について、資料を読み取り、理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 新しい国際秩序と大衆社会の特徴について考察し、みずからの言葉で表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ヴェルサイユ体制に基づく国際秩序の成立と、20世紀前半における大衆社会の到来が、現代社会に与えた影響と課題について追究する。	・指導事項 ヴェルサイユ体制の成立、大衆社会の出現とアメリカの繁栄 ・教材 明解 歴史総合ノート ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ヴェルサイユ体制によって形成された国際秩序と、国際社会や各国に生じた政治・社会・文化の変化について、資料を読み取り、理解している。 【思考・判断・表現】 新しい国際秩序と大衆社会の特徴について考察し、みずからの言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ヴェルサイユ体制に基づく国際秩序の成立と、20世紀前半における大衆社会の到来が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。	○	○	○	
	定期考査			○	○	○	
	単元名：日本の行方と第二次世界大戦 【知識及び技能】 世界恐慌から第二次世界大戦の終戦に至るまでの経緯について、大衆とマスメディアの関わりに着目しながら、資料を読み取り、理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ファシズム体制の形成から終戦に至るまで、大衆がなぜ戦争に協力していったのかを考察し、みずからの言葉で表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 世界恐慌後の各国の政治的判断と、大衆の戦争協力が、現代社会に与えた影響と課題について追究する。	・指導事項 世界恐慌、ファシズムの台頭、満州事変、第二次世界大戦、太平洋戦争 ・教材 明解 歴史総合ノート ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 世界恐慌から第二次世界大戦の終戦に至るまでの経緯について、大衆とマスメディアの関わりに着目しながら、資料を読み取り、理解している。 【思考・判断・表現】 ファシズム体制の形成から終戦に至るまで、大衆がなぜ戦争に協力していったのかを考察し、みずからの言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 世界恐慌後の各国の政治的判断と、大衆の戦争協力が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。	○	○	○	
	定期考査			○	○	○	
3 学 期	単元名：冷戦で揺れる世界と日本 【知識及び技能】 冷戦下の緊張と緩和の経緯と、そのなかでの日本の高度経済成長や、脱植民地化を目指す動きについて、資料を読み取り、理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 冷戦下の世界と日本の動向について、政治・経済の関連や諸地域間の比較を通して多面的に考察し、みずからの言葉で表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 冷戦下における各国の動向が、現代社会に与えた影響と課題について追究する。	・指導事項 冷戦、冷戦下における日本の復興 ・教材 明解 歴史総合ノート ・一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 冷戦下の緊張と緩和の経緯と、そのなかでの日本の高度経済成長や、脱植民地化を目指す動きについて、資料を読み取り、理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 冷戦下の世界と日本の動向について、政治・経済の関連や諸地域間の比較を通して多面的に考察し、みずからの言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 冷戦下における各国の動向が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。	○	○	○	18
	合計						78